

2021年3月期決算概要

2021年5月12日

テルモ株式会社

Chief Accounting and Financial Officer

武藤 直樹

おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況等があります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

ハイライト

■ Q4/Q4累計実績

- 売上収益：Q4として過去最高。コロナ影響は続くも、心臓血管の需要が着実に回復。他のカンパニーは感染対策やコロナ治療に貢献する製品群が牽引し増収
- 調整後営業利益：下期に中国入札への価格対応、在庫水準適正化に向けた生産調整による売上総利益へのマイナス影響があったものの、Q4累計で一桁台の減益にまで回復。Q4は行動制限の緩和に伴い、一般管理費が想定通り進捗
- 20年度配当案を年間29円とする。配当性向：28.3%

■ 21年度業績予想

- 売上収益は9～11%の増収、調整後営業利益は7～12%の増益
- 売上収益へのコロナ影響については、変異種やワクチンの普及状況等、引き続き懸念があるものの、症例数を始めとした医療需要の回復を見込む。調整後営業利益は、販売活動が20年度水準から活発化へ転じ、新規事業への先行投資分もあるが、増益を確保

P&L実績

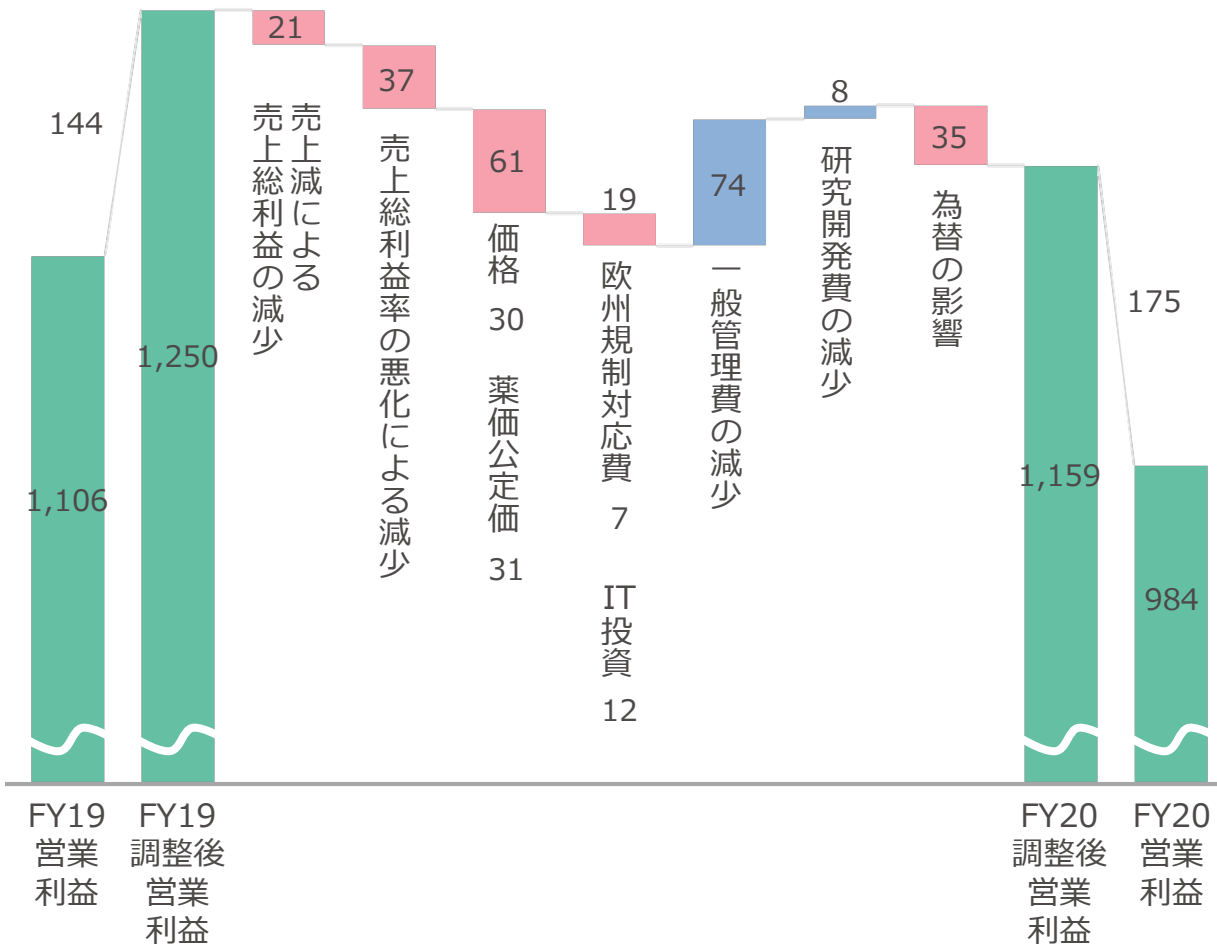
■ 売上収益： Q4として過去最高。Q4累計ではわずかに減収も、心臓血管の売上が着実に回復
 (心臓血管の売上増減率 Q1：▲24% Q2：▲2% Q3：▲2% Q4：+4%)

■ 調整後営業利益：下期に中国におけるPCI製品入札の影響、在庫水準適正化に向けた生産調整による売上総利益へのマイナス影響があったものの、Q4累計で一桁台の減益まで回復。Q4は行動制限の緩和に伴い、一般管理費が想定通り進捗

金額 (億円)	FY19 Q4累計	FY20 Q4累計	増減率	為替除く増減率	FY19 Q4	FY20 Q4	増減率
売上収益	6,289	6,138	-2%	-2%	1,588	1,652	4%
売上総利益 (売上総利益率%)	3,439 (54.7%)	3,266 (53.2%)	-5%	-3%	853 (53.7%)	854 (51.7%)	0%
一般管理費 (一般管理費率%)	1,845 (29.3%)	1,795 (29.2%)	-3%	-2%	477 (30.1%)	488 (29.5%)	2%
研究開発費 (研究開発費率%)	506 (8.0%)	491 (8.0%)	-3%	-2%	136 (8.6%)	132 (8.0%)	-3%
その他収益費用	18	3	-	-	4	-2	-
営業利益 (営業利益率%)	1,106 (17.6%)	984 (16.0%)	-11%	-8%	244 (15.3%)	231 (14.0%)	-5%
調整後営業利益 (調整後営業利益率%)	1,250 (19.9%)	1,159 (18.9%)	-7%	-4%	266 (16.7%)	274 (16.6%)	3%
税引前利益 (税引前利益率%)	1,065 (16.9%)	971 (15.8%)	-9%		210 (13.2%)	221 (13.4%)	5%
当期利益 (当期利益率%)	852 (13.5%)	773 (12.6%)	-9%		183 (11.5%)	187 (11.3%)	2%
期中平均レート(USD/EUR)	109円/121円	106円/124円			109円/120円	106円/128円	

調整後営業利益増減分析（Q4累計）

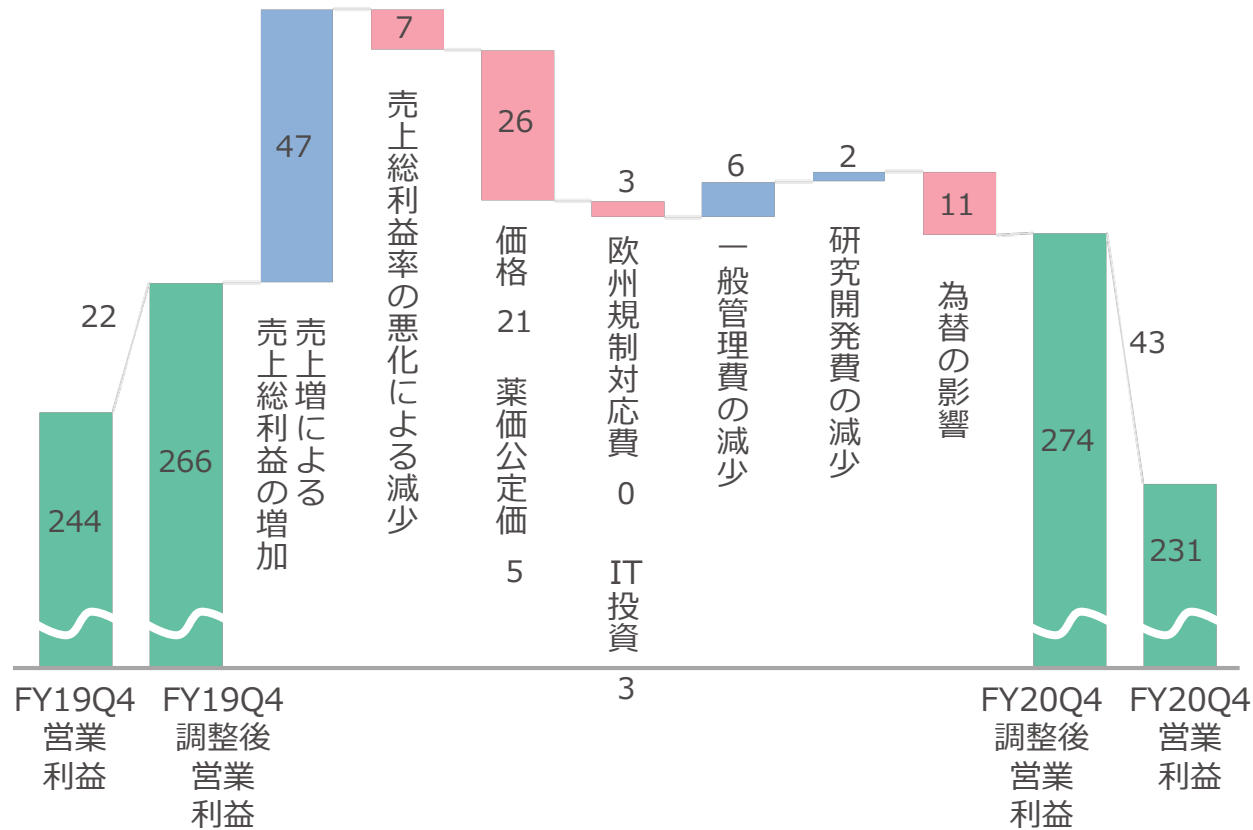
（億円）



- 売上減による売上総利益の減少：
上期、特にQ1の大きな減少を下期で挽回
- 売上総利益率の悪化による減少：
上期、特にQ1の大きな減少を下期で挽回。特にQ3は全カンパニーにおいて製品ミックスが改善し、顕著な回復
- 価格：
Q4に中国入札の影響を受け、減少幅が拡大
- 一般管理費の減少：
行動制限の緩和に伴い、減少幅は縮小
- 為替の影響：
Q4に棚卸資産未実現利益消去（ストック）へのマイナス影響

調整後営業利益増減分析 (Q4)

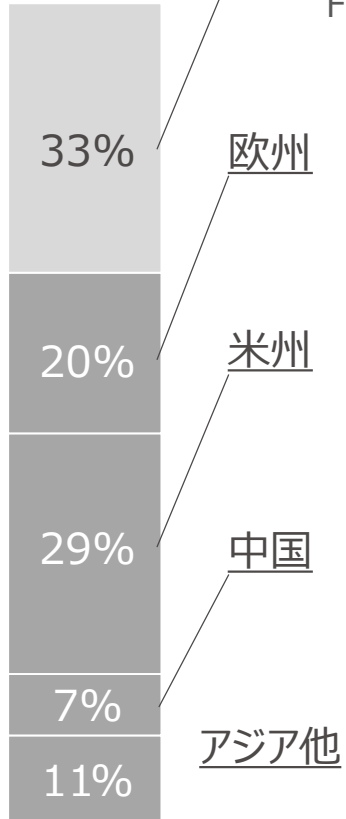
(億円)



- 売上増による売上総利益の増加：
売上は全カンパニーがプラス伸長。前年度Q4に中国の心臓血管領域を中心に受けたコロナ影響（▲27億円）が背景
- 売上総利益率の悪化による減少：
在庫適正化に向けて予定通り実施した生産調整や、コロナ影響を受けたフィリピン工場の操業度低下が影響
- 価格：
中国において、TISのPCI製品に対する入札による新価格適用が始まり、マイナス幅が拡大
- 一般管理費の減少：
主に米州における行動制限の緩和に伴い、若干の減少に止まる
- 為替の影響：
3月末レートが円安に振れたことにより、棚卸資産未実現利益消去（ストック）へのマイナス影響がフローへのプラス影響を上回る

地域別売上収益

FY20 Q4累計
地域構成比



FY	売上収益 (億円)		FY20 Q4累計 前年増減率 () 内は為替影響除く	コメント (C&V: 心臓血管、GH: ホスピタル、TBCT: 血液・細胞テクノロジー)
	Q4累計	Q4		
FY18	1,885	462	3%	2,000億円を超え、年間売上として過去最高。GHはQ2以降プラス伸長を継続、Q4はアライアンスとポンプが牽引し二桁伸長。C&Vはニューロ・CVが牽引しQを追うごとに着実な回復。TBCTは累計で前年並み
FY19	1,963	485		
FY20	2,018	534		
	1,204	322	-1% (-2%)	TISはコロナ再拡大の影響を受け、下期を通じてわずかにマイナス伸長も、C&V全体ではQ2以降プラス伸長を継続。TBCTは累計で一桁後半の伸長と好調、GHは累計で前年並み
	1,211	324		
	1,204	328		
	1,756	460	-6% (-2%)	C&Vはニューロ・血管がQ4に二桁伸長し牽引、TISも北米を中心に回復傾向。TBCTは血液センター向け製品が牽引し、累計でプラス伸長。GHは累計で前年並み
	1,914	498		
	1,808	497		
	462	134	-4% (-4%)	Q4はPCI領域で入札の影響あるも、前年度にコロナ影響が大きく、3カンパニー合計で20%に迫る伸長。累計ではニューロ代理店の受注タイミングの影響を除いて顕著な回復
	473	103		
	455	121		
	688	181	-10% (-9%)	一部の国におけるロックダウンの影響もあり、全カンパニーにおいてスローな回復。Q4は、C&Vはほぼ前年並み、TBCTは一桁の伸長と回復、GHにおいてはマイナス伸長を継続
	728	178		
	654	172		

心臓血管:

症例回復が進み、Q4でCV以外はプラス伸長に転じる。
累計でも血管はプラス伸長、TIS、ニューロのマイナス伸長は一桁台まで縮小

(億円)

	Q4累計			Q4			コメント	Q4累計 売上増減
売上 収益	() 内は為替影響除く						TIS : 製品群全般に需要減の影響も、Q2、Q3と一桁前半のマイナス、Q4はプラス伸長と回復が進む。症例数の回復は日米が早く欧州が遅め。中国は下期に入札の影響を受けるも、前年度Q4のコロナ影響が大きく、顕著な回復	-157
	3,285	3,506	3,285					
			-6% (-6%)	875	871	901	ニューロ : 中国代理店の受注タイミングの問題は下期に正常化も、累計での影響が残る。Q2以降は脳動脈瘤治療における症例数の回復が進み、日米はFRED等の新製品が牽引し二桁伸長、欧州もプラス伸長を継続	-26
						+4%		
調整後 営業利益							CV : 欧米を中心に症例延期による需要減の影響を受けるも、日本においてはECMO等の装置売上によりQ4、累計ともに二桁伸長。中国もQ4に回復が加速し、一桁後半の伸長	-47
	809	869	744					
			-14% (-11%)	229	181	184	血管 : Q2以降はプラス伸長を継続、累計で+5%伸長と堅調。Q3までは地域ごとに症例延期の影響が残るも、新製品TREOが牽引し北米が好調。Q4は中国の回復もあり全地域でプラス伸長	+10
						+1%		
調整後 営業利益率	FY18	FY19	FY20	FY18	FY19	FY20	利益 : 累計では売上減による減益も、Q4においてはTIS製品に対する中国入札の影響や、在庫適正化に向けた生産調整による売上総利益へのマイナス影響を跳ね返してプラス伸長	
	25%	25%	23%	26%	21%	20%		

ホスピタル:

アライアンスと感染対策製品が牽引。
各セグメントでも徐々に需要減からの回復が進む

(億円)

	Q4累計			Q4			コメント	Q4累計 売上増減
売上 収益	() 内は為替影響除く						医療器	-14
	1,658	1,710	1,755				: 日本とアジアにおける診療制限のマイナス影響を、感染対策製品やポンプの増収で緩和。下期は国内で補正予算を背景にポンプが牽引し、プラス伸長を継続	
			+3% (+3%)	399	432	465	医薬品	-6
調整後 営業利益							: 輸液剤の需要減を、新製品を中心に疼痛緩和がカバー。コロナ禍でもPD（腹膜透析）は累計で4%伸長と堅調、癒着防止材は累計で二桁伸長を継続	
	268	252	257				DM・ヘルスケア	+16
			+2% (+3%)	45	54	53	: 累計では体温計等ヘルスケア製品の需要増。DMは受診抑制下でも下期はプラス伸長を継続。ヘルスケア製品は特需が一巡し、Q4は前年並み	
調整後 営業利益率							アライアンス	+50
	16%	15%	15%				: 日本・海外ともに二桁伸長を継続し、グローバル累計では20%を超える伸長。特にQ4は受注タイミングの影響で大きく伸長	
				11%	13%	11%	利益	
	FY18	FY19	FY20	FY18	FY19	FY20	: Q4はアライアンスが牽引し売上は伸長も、コロナ影響によるフィリピン工場の操業度低下や、日本における販促費や開発費の計画通りの進捗により、わずかに減益。 累計ではヘルスケア、アライアンスの好調な売上による製品ミックスの改善と費用コントロールによりプラス伸長	

血液・細胞テクノロジー:

輸血需要の減少影響あるも、成分採血装置が牽引し、製品ミックス改善、費用コントロールにより増収増益を継続

(億円)

	Q4累計			Q4			コメント	Q4累計 売上増減
	() 内は為替影響除く							
売上収益	1,050	1,072	1,095	284	284	285	血液センター : 全血採血製品は欧州、アジア、中南米等で輸血需要の減少を受けてマイナス伸長も、コロナ回復期血漿に向けた需要増に加え、成分採血装置の新ソフトウェアが牽引。Q4はコロナワクチンの普及に伴い回復期血漿の需要減速がみられるも成分採血製品は二桁伸長を継続	+30
			+2% (+4%)			+0%		
調整後営業利益	157	151	191	48	46	47	アフレスシス治療 : 症例減の影響が残る。Q3はプラス伸長も、コロナ再拡大の影響を受け、Q4はわずかにマイナス伸長	-7
			+27% (+30%)			+0%	細胞処理 : コロナ影響による導入遅延があるも、下期は二桁伸長し前年並みに押し戻す	+0
調整後営業利益率	15%	14%	17%	17%	16%	16%	利益 : Q4はワクチン普及の進んだ北米を中心に、輸血需要の回復と回復期血漿の需要減速があり製品ミックスが平常化。販促費や開発費が想定通りに進捗する中、増益を確保。累計では、製品ミックスによる売上総利益増に加え、費用コントロールが寄与し大幅増益を達成	

主なトピックス

全社

- 「コーポレート・ガバナンス・オブ・ザ・イヤー」に選定
- グループ全体のデジタルトランスフォーメーションを推進する「DX推進室」を新設



ePRISMが分析した情報を医師が確認する様子
(イメージ)

心臓血管

- 臨床意思決定支援ソフトウェア「ePRISM」を開発・販売する
Health Outcomes Sciences社の全資産を買収

ホスピタル

- デッドボリュームを少なくした薬剤投与用注射器「FNシリンジ」の生産を開始
- Glooko社と糖尿病治療のデジタル化推進を目指した戦略的提携を締結
- 協和キリン株式会社と共同開発中の薬剤自動投与デバイスを用いた医薬品「ジーラスタ[®]」に関する国内臨床試験が完了



薬剤投与用注射器
「FNシリンジ」

血液・細胞 テクノロジー

- CSL Plasma社と原料血漿採取における協業を開始



Glooko社のdiasend platform
(イメージ)

21年度業績予想

コロナ影響からの需要回復に売上収益を連動させた業績予想

- レンジ上限： 上期からワクチンの普及、医療需要の回復が進み、下期には成長軌道へ回帰
- レンジ下限： 上期は20年度同様、世界的に感染者数が増減。下期より感染拡大がコントロールされ回復に向かう

(億円)

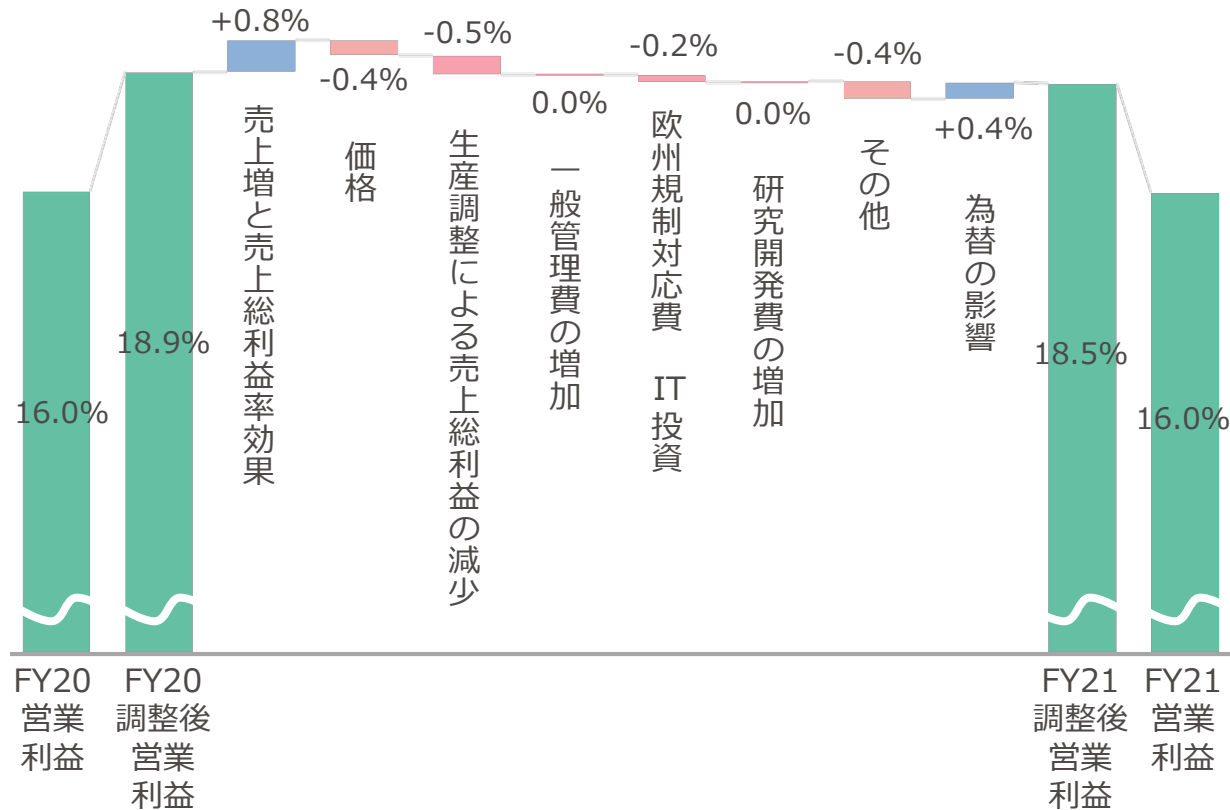
	FY20 実績	FY21 業績予想	増減率	為替除く 増減率
売上収益	6,138	6,700~6,800	9~11%	8~9%
営業利益	984	1,070~1,130	9~15%	4~11%
(営業利益率%)	16.0%	16.0~16.6%		
調整後営業利益	1,159	1,240~1,300	7~12%	3~8%
(調整後営業利益率%)	18.9%	18.5~19.1%		
当期利益	773	820~865	6~12%	

為替レート(USD/EUR)

106円/124円

107円/128円

21年度業績予想 利益率増減要因 (売上収益6,700億円のシナリオベース)



- 売上増と売上総利益率効果：
心臓血管において米国を中心に売上回復。これに伴い製品ミックスが改善
- 価格：
20年度下期に開始された中国入札が年間を通して影響
- 生産調整：
心臓血管、特にTIS製品を中心に、在庫水準適正化に向けた生産稼働率の調整を年度を通じて実施
- 一般管理費の増加：
行動制限の緩和及び売上の回復、胸部ステントグラフト等の新製品発売に伴い増加を見込むも、売上伸長の水準内に止める
- その他：
原料血漿採取領域について、売上計上は22年度以降となるものの、一定の費用投下を見込む
- 為替の影響：
ユーロ、中国元、新興国通貨が利益に対してプラスに影響

21年度カンパニー別業績予想 (売上収益6,700億円のシナリオベース)

		売上収益		コメント
		金額 (億円)	前年増減率	
心臓血管	FY19	3,506	14% (12%)	TISの中国入札影響があるものの、米国を始めとする売上回復によりTIS、血管は二桁増収、ニューロは20%に迫る増収
	FY20	3,285		
	FY21	3,735		
ホスピタル		1,710	3% (3%)	21年度はアライアンスやDM、疼痛緩和が牽引。ヘルスケア製品の特需は一巡も、医療器と医薬品において回転品の回復を見込む
		1,755		
		1,815		
血液・細胞テクノロジー		1,072	5% (3%)	回復期血漿の需要減を、輸血需要の回復やアフェリシス治療・細胞処理の拡大で吸収して増収
		1,095		
		1,150		

() 内は為替影響除く

配当案

- 安定的に配当を増やし、中長期的に配当性向30%を目指す
- 20年度は年間29円（当初予想から1円増配）
- 21年度は年間30円とし増配維持

	FY20 実績	FY21 予想
当期利益（億円）	773	820~865
EPS（円）	102	108~114

配当案/株	29.0円 中間14.0 期末15.0	30.0円 中間15.0 期末15.0
配当性向	28.3%	26.2~27.7%

参考資料

20年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品	地域	ローンチ
心臓	スティラブルシース	日	済み
	PTCAバルーン(Essen社製)	中	済み
イメージング	IVUSカテーテル	日	済み
オンコロジー	生分解性薬剤溶出型ビーズ	欧	FY21
	末梢血管塞栓用プラグ	米	FY21
脳	血流改変ステント	日米	済み
	バルーン付きガイドカテーテル	欧	FY21
	頸動脈用ステント	日	済み
	袋状塞栓デバイス (Woven EndoBridgeデバイス)	日	済み
カーディオ バスキュラー	次世代人工肺	日	済み
	人工心肺装置(再出荷)	日	済み
	オフポンプ用臓器固定器具	グローバル	済み

領域	製品	地域	ローンチ
血管	腹部ステントグラフト	米	済み
医療器	次期シリンジポンプ	日	済み
	次期針刺し防止機構付留置針	日	FY22以降
	Open-TCI用シリンジポンプ	欧亜	済み
医薬品	強オピオイド鎮痛薬	日	済み
DM・ ヘルスケア	次期持続血糖測定器	日	FY21
	血糖測定システム	日	済み
	次期体温計	日	済み

21年度パイプライン製品

領域	製品	地域
心臓	次期薬剤溶出型ステント	日
オンコロジー	生分解性薬剤溶出型ビーズ	欧
	末梢血管塞栓用コイル	日
	末梢血管塞栓用プラグ	米
脳	血流改変ステント	欧米
	バルーン付きガイドカテーテル	欧米
	コイルアシストステント	欧米
血管	胸部ステントグラフト	米
	オープンステントグラフト	米
	腹部ステントグラフト	日

領域	製品	地域
医療器	次期輸液ポンプ	日
	次期小型シリンジポンプ	日
	FNシリンジ（16mm針）	日
医薬品	フルマゼニル静注	日
	次期無菌接合装置	日
	ジェルクレア	日
DM・ヘルスケア	次期持続血糖測定器	日
	パッチ式インスリンポンプ	欧
	100周年記念体温計	日
	非接触データ通信体温計	日
血液・細胞テクノロジー	血液自動製剤システム	グローバル
	付加価値サービス	グローバル

売上明細 (地域別・事業別)

2020年度 セグメント別売上収益

Revenue by Segment for FY2020

(百万円/millions of yen)

		FY2019							FY2020											構成比 % to total			
		日本 JPN	海外 Overseas	欧州 Europe	米州 Americas	中国 China	アジア他 Asia and others	合計 WW	日本 JPN	%YoY	海外 Overseas	%YoY	欧州 Europe	%YoY	米州 Americas	%YoY	中国 China	%YoY	アジア他 Asia and others		%YoY	合計 WW	%YoY
心臓血管 カンパニー	TIS	34,008	202,331	56,350	92,603	28,018	25,359	236,340	31,337	-7.9%	189,290	-6.4%	52,996	-6.0%	84,648	-8.6%	29,180	4.1%	22,464	-11.4%	220,628	-6.6%	35.9%
	ニューロバスキュラー	3,981	43,644	13,744	16,901	9,056	3,961	47,626	4,880	22.6%	40,136	-8.0%	13,817	0.5%	17,472	3.4%	4,988	-44.8%	3,857	-2.6%	45,016	-5.5%	7.3%
	カーディオバスキュラー	10,285	35,973	5,974	23,495	1,389	5,113	46,259	11,402	10.9%	30,180	-16.1%	5,239	-12.3%	18,920	-19.5%	1,510	8.7%	4,509	-11.8%	41,582	-10.1%	6.8%
	血管	2,647	17,676	10,168	5,365	1,018	1,123	20,324	2,587	-2.3%	18,735	6.0%	10,469	3.0%	5,938	10.7%	1,340	31.3%	987	-12.1%	21,322	4.9%	3.5%
Cardiac and Vascular Company		50,924	299,626	86,238	138,366	39,463	35,558	350,550	50,208	-1.4%	278,341	-7.1%	82,523	-4.3%	126,978	-8.2%	37,019	-6.2%	31,818	-10.5%	328,549	-6.3%	53.5%
ホスピタル カンパニー	医療器	51,181	26,381	2,506	7,156	1,411	15,306	77,562	52,978	3.3%	23,208	-12.0%	2,539	1.3%	6,593	-7.9%	1,262	-10.3%	12,813	-16.3%	76,186	-1.8%	12.4%
	医薬品	45,191	-	-	-	-	-	45,191	44,525	-1.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44,525	-1.5%	7.3%
	DM・ヘルスケア	21,552	3,006	819	25	947	1,214	24,559	23,319	8.2%	2,883	-4.1%	798	-2.5%	11	-53.5%	976	3.0%	1,096	-9.7%	26,202	6.7%	4.3%
	ホスピタルシステム小計	117,925	29,388	3,326	7,182	2,359	16,520	147,313	120,822	2.3%	26,092	-11.2%	3,338	0.4%	6,605	-8.0%	2,239	-5.1%	13,910	-15.8%	146,915	-0.3%	24.0%
アライアンス	14,954	8,695	5,991	1,881	116	705	23,650	18,316	22.5%	10,313	18.6%	6,903	15.2%	2,448	30.1%	183	57.6%	778	10.3%	28,630	21.1%	4.7%	
General Hospital Company		132,880	38,083	9,317	9,064	2,475	17,226	170,963	139,139	4.7%	36,405	-4.4%	10,241	9.9%	9,053	-0.1%	2,422	-2.1%	14,688	-14.7%	175,545	2.7%	28.7%
血液・細胞 テクノロジー カンパニー	血液センター	11,787	66,436	19,717	25,424	4,710	16,583	78,223	11,549	-2.0%	69,682	4.9%	21,376	8.4%	27,271	7.3%	5,242	11.3%	15,791	-4.8%	81,231	3.8%	13.2%
	アフェレシス治療他	463	20,726	5,154	12,023	514	3,033	21,189	453	-2.2%	20,055	-3.2%	5,301	2.8%	11,239	-6.5%	690	34.3%	2,823	-6.9%	20,508	-3.2%	3.3%
	細胞処理	58	7,685	700	6,509	89	385	7,743	151	161.4%	7,599	-1.1%	945	35.0%	6,255	-3.9%	149	66.3%	248	-35.4%	7,750	0.1%	1.3%
Blood and Cell Technologies Company		12,309	94,847	25,572	43,958	5,315	20,001	107,156	12,154	-1.3%	97,336	2.6%	27,624	8.0%	44,765	1.8%	6,082	14.4%	18,864	-5.7%	109,491	2.2%	17.8%
その他	Others	226	-	-	-	-	-	226	256	13.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	256	13.3%	0.0%
合計		196,339	432,557	121,128	191,388	47,254	72,785	628,897	201,758	2.8%	412,084	-4.7%	120,389	-0.6%	180,798	-5.5%	45,525	-3.7%	65,371	-10.2%	613,842	-2.4%	100.0%
売上比率		31.2%	68.8%	19.3%	30.4%	7.5%	11.6%	100.0%	32.9%		67.1%		19.6%		29.5%		7.4%		10.6%		100.0%		

(期中平均為替レート)

(Average Exchange Rates)

(USD1=¥108.70)
(EUR1=¥120.81)

(USD1=¥106.10)
(EUR1=¥123.76)

* 今回より「中国」の売上を開示しているため、「アジア他」から「中国」の売上を除いております。

* Sales in China is not included in "Asia and others" from this reportable segment.

販管費

(億円)

	FY19 Q4累計	FY20 Q4累計	増減	増減率	為替除く 増減率
人件費	898	928	29	3%	4%
販促費	197	128	-68	-35%	-34%
物流費	139	144	5	4%	4%
償却費	189	191	2	1%	2%
その他	423	404	-19	-4%	-3%
一般管理費計	1,845	1,795	-51	-3%	-2%
(一般管理費率%)	(29.3%)	(29.2%)			

研究開発費	506	491	-15	-3%	-2%
(研究開発費率%)	(8.0%)	(8.0%)			

販管費合計	2,351	2,286	-66	-3%	-2%
(販管費率%)	(37.4%)	(37.2%)			

FY19 Q4	FY20 Q4	増減	増減率
232	240	8	3%
51	43	-8	-16%
35	37	2	6%
50	49	-1	-2%
109	119	10	10%
477	488	11	2%
(30.1%)	(29.5%)		

136	132	-4	-3%
(8.6%)	(8.0%)		

613	620	7	1%
(38.6%)	(37.5%)		

四半期の動き

(億円)

	FY19 Q4 (1-3月)	FY20 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)
売上収益	1,588	1,313	1,520	1,653	1,652
売上総利益	853 (53.7%)	689 (52.5%)	816 (53.7%)	908 (54.9%)	854 (51.7%)
一般管理費	477 (30.1%)	401 (30.5%)	458 (30.2%)	447 (27.1%)	488 (29.5%)
研究開発費	136 (8.6%)	112 (8.5%)	119 (7.8%)	128 (7.7%)	132 (8.0%)
その他収益費用	4	5	-1	2	-2
営業利益	244 (15.3%)	181 (13.8%)	238 (15.6%)	334 (20.2%)	231 (14.0%)
調整後営業利益	266 (16.7%)	217 (16.5%)	296 (19.5%)	372 (22.5%)	274 (16.6%)

四半期	USD	109円	108円	106円	105円	106円
平均レート	EUR	120円	119円	124円	125円	128円

調整後営業利益：調整額

(億円)

	FY19 Q4累計	FY20 Q4累計	FY19 Q4	FY20 Q4
営業利益	1,106	984	244	231
調整① 買収無形資産の償却費	157	146	38	38
調整② 一時的な損益	-13	29	-16	5
調整後営業利益	1,250	1,159	266	274

※ 調整項目に含まれる費用・収益の例

- 買収関連費用
- 訴訟関連損益
- 減損損失
- 事業再編費用
- 損害保険収入
- 災害による損失
- その他一時的な損益

調整②「一時的な損益」の主な項目	FY20 Q4累計	FY20 Q4
事業再編費用	7	3
その他	22	2

設備投資、償却費、研究開発費

(億円)

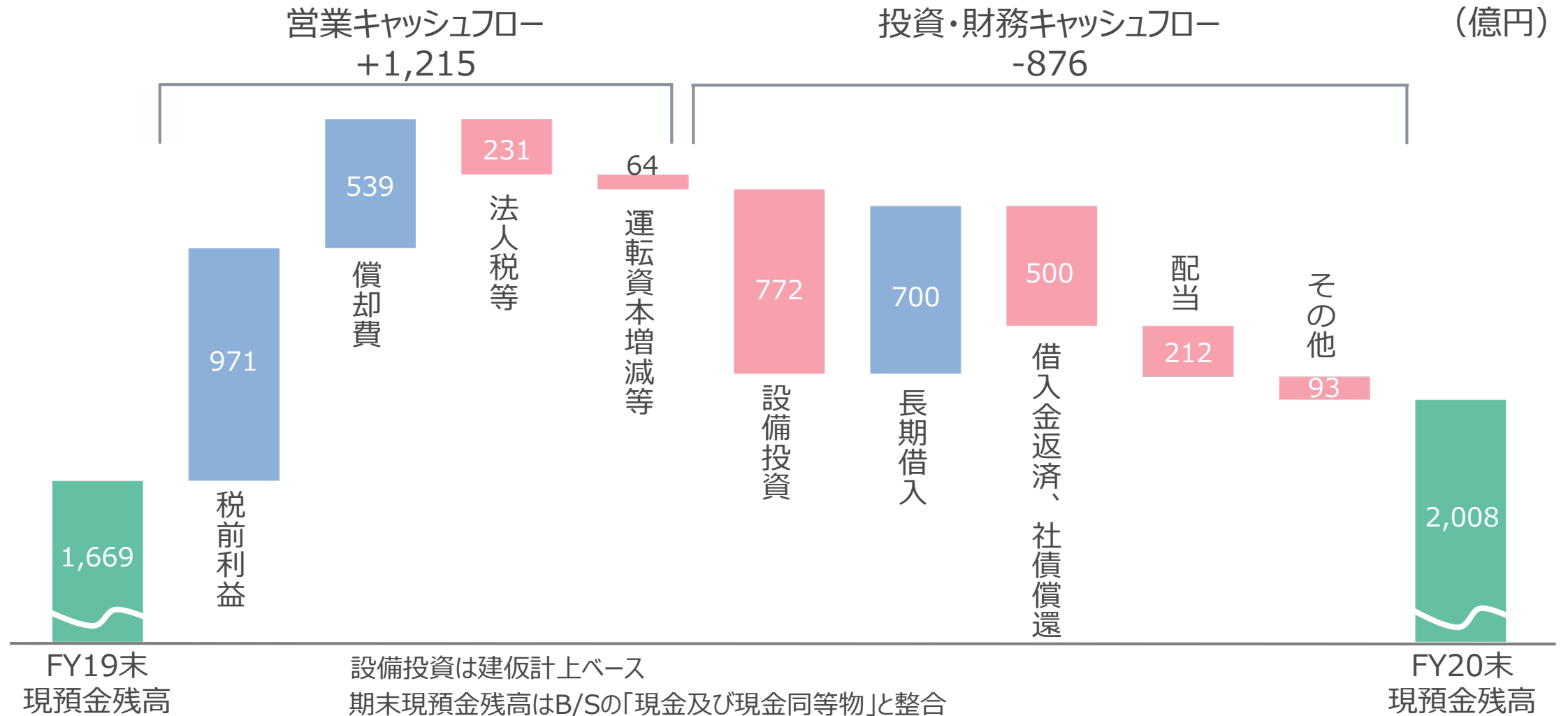
	FY17	FY18	FY19	FY20	FY21予想
設備投資	436	608	895	772	850
償却費	420	440	477	484	530
買収無形償却費	145	146	157	150	155
それ以外	276	294	320	334	375

設備投資は建設仮勘定計上ベース

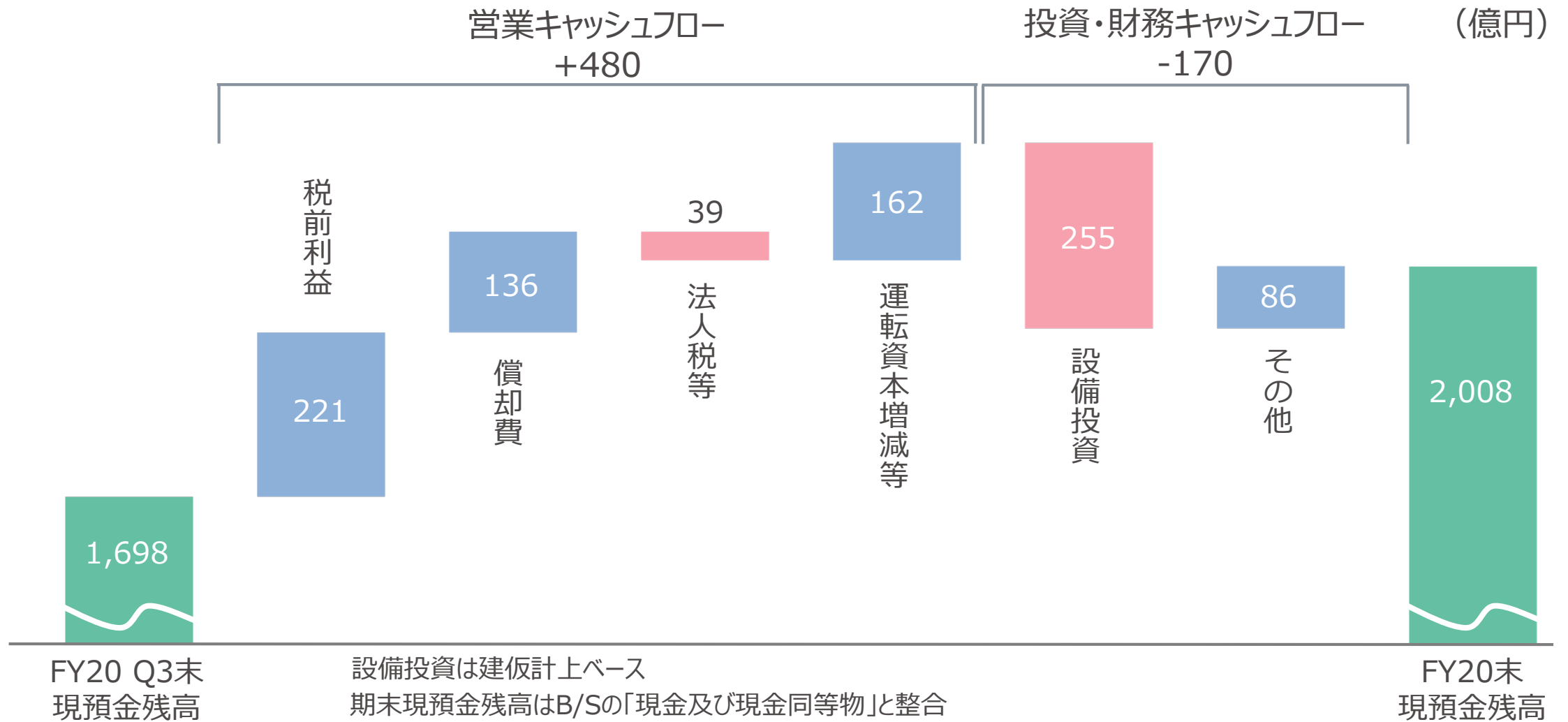
- 20年度実績（772億円）：主にTIS、ニューロ、アライアンス、血液・細胞テクノロジー等の増産設備、生産スペース、R&D投資、基幹システム（SAP）等のIT投資を継続
- 21年度予想（850億円）：上記の他、原料血漿採取関連、ワクチン用シリンジ設備等、21年度業績も踏まえながら適切に実行

	FY17	FY18	FY19	FY20	FY21予想
研究開発費	413	477	506	491	529

キャッシュフロー（Q4累計）

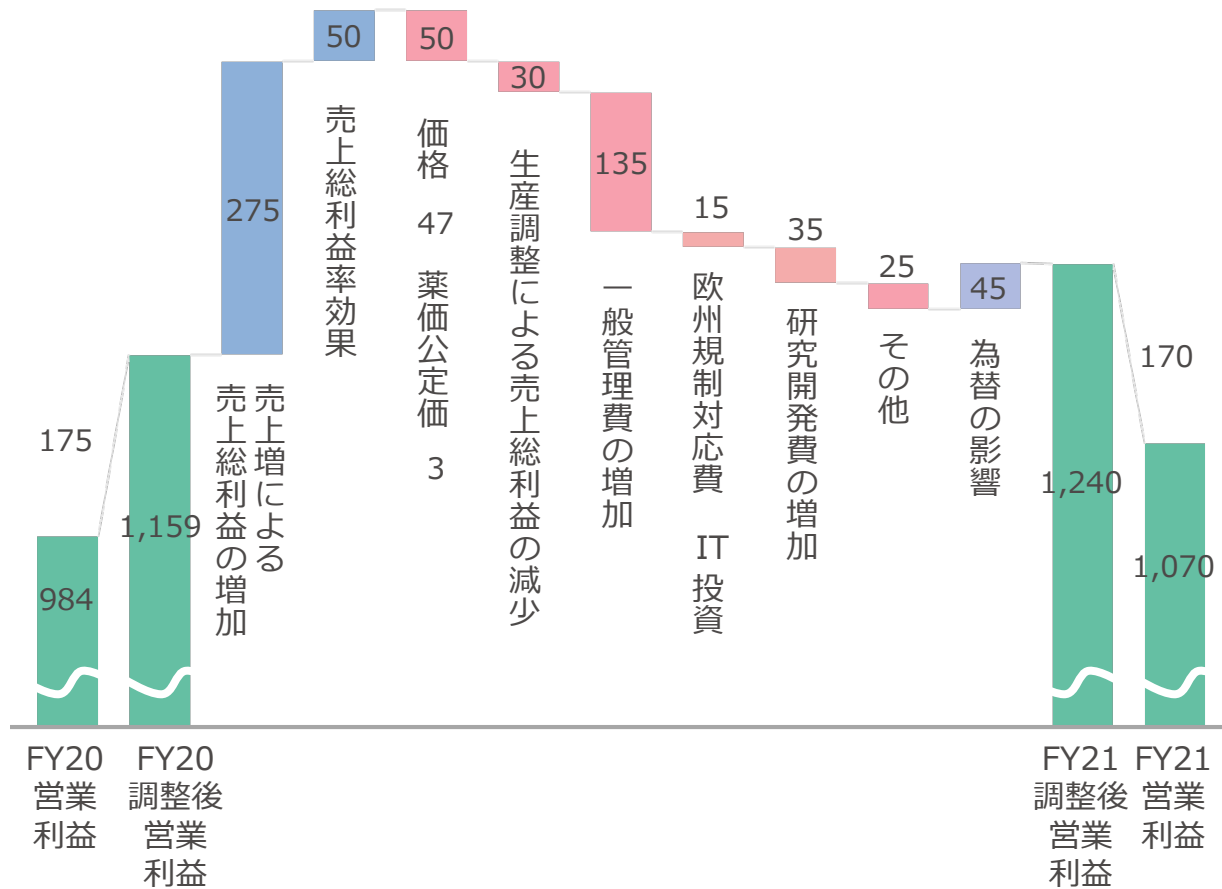


キャッシュフロー (Q4)



21年度業績予想 利益増減要因 (売上収益6,700億円のシナリオベース)

(億円)



- 売上増と売上総利益率効果：
心臓血管において米国を中心に売上回復。これに伴い製品ミックスが改善
- 価格：
20年度下期に開始された中国入札が年間を通して影響
- 生産調整：
心臓血管、特にTIS製品を中心に、在庫水準適正化に向けた生産稼働率の調整を年度を通じて実施
- 一般管理費の増加：
行動制限の緩和及び売上の回復、胸部ステントグラフト等の新製品発売に伴い増加を見込むも、売上伸長の水準内に止める
- その他：
原料血漿採取領域について、売上計上は22年度以降となるものの、一定の費用投下を見込む
- 為替の影響：
ユーロ、中国元、新興国通貨が利益に対してプラスに影響

20年度 為替影響の内訳（フロー・ストック）

■ 対19年度 為替影響 ▲35億円：Q3累計▲24億円から、Q4に▲11億円拡大

■ フロー +8億円：ユーロ高・中国元高によるプラスと、新興国通貨(ブラジル等)安によるマイナス

レート（円）	FY19 Q4期中平均	FY20 Q4期中平均	差異
EUR	120	128	8
中国元	15.6	16.4	1

■ ストック ▲19億円：為替変動による棚卸資産未実現利益消去への影響

- 20年度3月末日レートが急激に円安へ移行したことによりマイナス影響
- 19年度3月末日レートは若干円高に振れたため今年度との差異拡大

レート（円）	FY19 Q4期中平均	FY19 3月末	差異	レート（円）	FY20 Q4期中平均	FY20 3月末	差異
USD	108.9	108.8	-0	USD	106	111	5
EUR	120.1	119.6	-0	EUR	128	130	2

為替感応度

1円の円安に対しての年間影響額 (億円)

	USD	EUR	中国元
売上収益	17	8	27
調整後営業利益	0	5	15

<参考> 10%円安に動いた時のインパクト

	北米	中南米	欧州		アジア	
			ユーロ圏	その他	中国元	その他
調整後営業利益	-1	10	65	13	23	36



Stride Ahead
100th